

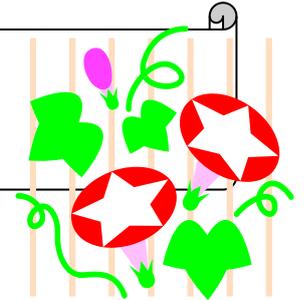
ゴ ク ロー サン  
**5 9 6 3** **ハート通信**

VOL. 54

**竹原運輸株式会社**

発行日 平成 25 年 7 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつもご愛顧いただきましてありがとうございます。

仕事をしていると

「それはどんな意味があるのですか？」

「それをやると何が得られるのですか？」

と、聞くことがある。それは等価交換である。

そのことが悪いわけではないが、その仕事の姿勢では交換以上のものは手に入らない。

私が勧めているのは、

「何があるかわからない？」

「何が得られるかわからない？」

そういう仕事だけドトライしてみる、やってみるという姿勢です。

そういう仕事は、うまくいかないことが多いし、失敗も多いだろう。

だけど単なる成果主義とは違って、得られるものは自分の確かな成長だったり、貴重な仲間だったりする。プロジェクト X に出てくる人たちは、そういう仕事をしている人たちだと思う。

成果主義は交換だから、個人主義になりやすい。

私のおすすめは贈与の仕事。贈与の場合は、一人でできない仕事が多いから、仲間ができて、信頼関係が築けて、お客様から「ありがとう」がもらえて、やりがいや生きがい生まれてくるのだと思う。

もちろん交換は大事だけど、贈与の姿勢がこれからもっと大事なような気がする。

竹原 和行

弊社の倉庫に、雨漏れが発生しました。

中々、原因箇所を発見し、修理して雨漏れをなくすことは難しい事だと思っていました。  
大概は業者に依頼することになるのですが……。

今回は屋根の上に社員が登りまして、雨漏れしてそうな箇所を探し、修理することになりました。

まあ、兎に角、社長としては高所(屋根の上に登る)作業だし、怪我することが一番大変なんです、修理することは有難い事だけど…、ヒヤヒヤもんです。

安全作業を第一として、コーキング処理を色んな所に施工したようです。

その倉庫を毎日使用している社員グループが中心となって、和気あいあいと修理作業していたようです。

社員さんは、色んな職歴を持っています。何か会社にその特別な経験を生かして頂けると、お互いに喜び合える、会社と個人の間には本当にいい関係が出来て、嬉しい限りです。

会社の休みに会社に来て、駐車場の白線を引く  
ゴミの分別をして鉄をお金にする  
アスファルトの穴を補修して鉄板を被せる  
コンクリートの補修工事  
大工仕事など

自分の持てる力を発揮出来て、それが周りのみんなの喜びになり、役に立っている…。

会社っていい所なんですよ。

社長 竹原正和



### 《熱中症の予防》

当社にとって、これからの季節には一番乗務員に対して気を遣っていく時期でもあり、重点課題としているのが乗務員の健康管理であります。

7月に入って気温は、どんどんと上昇しています。この時期になると乗務員に対して、会社としての熱中症対策が必要となって来ます。発生のピークは、7月から8月。現場での荷作業の多い我々は、益々熱中症に注意をして行かねばなりません。

当社には、熱中症に対する社内マニュアルがすでに作成されており、社内に掲示され、各部門のミーティング時には対策マニュアルを基に予防策を話し合っており、当社に休憩室には、出庫する乗務員、帰庫した乗務員がすぐに飲めるようにと、大型やかん、ポット2本にいつでも新鮮な麦茶が大型冷蔵庫に入れてあります。暑い日になると1日3回～4回の麦茶作りが続きます。

併せて中間点呼時には「水分の補給」「出来るだけ暑さを避ける」ようとの指示の徹底を図っています。しかし、本人が少々辛くても頑張ってしまう人も、どうしても出て来てしまいます。このような真面目な人が、会社に申し出やすい環境作りが必要であると考え、出来るだけ一声を掛ける様にもしています。「朝食は食べましたか」「最近をよく眠れていますか」「疲れは感じていませんか」等、簡単な項目で声掛けを行っています。

本人からの申し出は勿論ですが、出来るだけ管理者が見抜いて積極的に声を掛けて行くよう努力も行っています。一步現場に出してしまうと作業中、乗務中で目が届かなくなってしまうため出発時、帰庫時に実行するようにしています。

熱中症だけでなく、心臓疾患、脳疾患等労働災害を防止するためにも乗務員の健康管理を一層徹底して行かねばならない当社にとって、『熱い』『暑い』7月～8月の夏がやって来ました。

橋本 勝



### 『ドライブレコーダー取付で思う事』

当社のトラックは、ドライブレコーダーが全車に取付され、日々運行しております。効果として、事故の発生時は、事故状況がしっかりと確認が出来き、有効なる証拠としても活用が出来き、運転走行中のヒヤリハット映像もその状況が一目で判ります。

当社の取付であるドライブレコーダーは、走行中の映像を出庫してから帰庫するまで8時間のすべてが記録出来るシステムになっています。

本来は、安全運行を心掛けておればヒヤリハットの映像が記録される事態は「あってはならない」ことでありますが、長時間の運行をしていると必ず言っている程ヒヤリハットは発生するものです。

当社は、乗務員からの申告で記録映像をチェックして運行中の出来事、停車時や車間距離の取り方など詳しく聞き上げ、運行の指導を行っています。

走行中での車間距離は、追突防止は勿論、赤信号の停車位置まで接近するトラックが停車中の乗用車に威圧感を与えているような停止の仕方をしているかどうか確認しています。

今後は、数多くのヒヤリハット映像を集めて、普段の走行がドライブレコーダーで常時録画されているのだという意識を乗務員に持たせて、安全指導をさらに徹底して行きたいと考えています。

『安全運行を実施して事故を無くして行くことが、輸送の品質の向上につながって行き、事故を無くすという視点から無媒な運転が排除され、その結果乗務員が安全運転に心掛け、当社が現在実施中である省エネコンテスト（省燃費運転）にもつながって行き、安全運転をすることによって急発進や急加速が無くなり、タイヤの耐久性も向上して行き、コスト削減にも貢献出来き、さらに荷主様との間に「安全」という信頼関係も深まっていくことだと思っております。』

一石〇〇鳥にもなっています。

斎藤 洋一

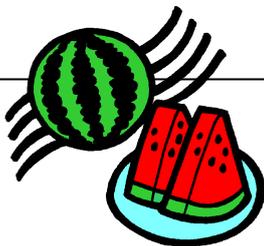


連日、今年の最高気温とか・・・熱中症とか・・・。夏がすぐそこまでやってきております。とを感じるのもTVやラジオの報道からですかね。事務所で仕事をしていると暑いことくらいは分かるのですが空の色や雲の形までは分かりません。中間点呼時には乗務員に「水分をこまめに取って休憩しなさい」と言っていますが暑さを実感しているわけではないのです。しかし熱中症の症状や発症するまでの仕組みは大体理解しています。怖さも知っているだけに乗務員にはしつこく伝え注意するのです。

先月の安全委員会で議論中に一番眠い時間帯のことを委員（乗務員）の一人が発表しておりました。夜明け前だそうです。。私も共感しておりました。数年前、私も長距離の乗務員として全国各地のお客様先に荷物を届けておりました。確かに・・・夜明け前は睡魔との闘いだったことを思い出しました。でも夜明けの瞬間・・・闇（青）から明（赤）に風景、道路、建物、世の中の全てのものが変化する一瞬の紫色は「キレイ」の一言では表現できません。早朝の仕事をしている人が体験できる特権です。夜明け前と夜明け後の明暗も知っていますので委員にはしつこく伝え注意するのです。

陽に焼けた黒い肌、風鈴の音色、虫の声、スイカの赤、夕立の匂い、花火の音・・・現在の情報社会でも伝えられることは限られてしまいます。少年のころのように夏を満喫し現代の少年に熱中症以外の夏を伝えたいですね。。

池上則和



いつも大変お世話になりありがとうございます。

暑期中、環境に優しくしたい気持ちと、自分に優しい気持ちの間で葛藤を続ける今日この頃ですが、なにかしら言い訳を考えてエアコンの設定温度を下げてしまいます。

毎年のように異常気象という言葉を目にしますが、『例年通り異常気象』なんてややこしい話でも体調管理をしっかりして負けないように努力したものです。

今年、家にツバメが巣を作りました。野生の動物達は、少々の変化に惑わされる事なく順応している事に感心しました。

私たちは季節や気象条件以外にも沢山の事に順応しなければならないのですが、敏感に反応して仕事や生活に活かしたいと思います。

辻川 伸吾

ビールの美味しい季節がやってまいりましたが、皆様お元気でしょうか？  
飲みすぎには十分注意しましょうね！ ちなみに私は一人家飲みが大好きで、たまに飲みすぎて吐いています(@\_@;)

さて先日、長期休暇で千葉に住む息子夫婦が福井に戻って来ていたのですが、せっかくだからみんなで温泉にいこうと息子夫婦が企画して私と元妻、息子の妻のご両親を城崎温泉に招待してくれました。私は城崎温泉がどこにあるかも知らなかったのですが、良かったですね～城崎温泉！ 今どき、こんな温泉街があるんだと感動いたしました。城崎温泉は兵庫県豊岡市にあり、平安時代から知られている温泉で 1300 年の歴史をもつそうです。基本的に七湯ある外湯めぐりが主体の温泉で、城崎温泉駅前から外湯につながる大谿川沿いに温泉街を形成していて、私たちは夕方 5 時頃にそのメインストリートに入っていったのですが、川べりには柳の木が植えてあり、それが風情を醸し出し、その両岸には土産物屋やゲームコーナー、飲食店などが立ち並び、浴衣を着たカップルや家族連れで大変にぎやかで活気があり、私たちを一気に『温泉にきたぞ～』という楽しい気持ちにさせてくれました。

お世話になる宿に入り、食事までの時間でさっそく正装(浴衣に下駄)に着替え温泉街に繰り出しました。ぶらぶらとお店を見て回り、昔ながらのゲームコーナーには手打ちのパチンコ、射的、スマートボールなどがあり、その場所にいるだけで子供の頃にタイムスリップした感覚になりしばらく楽しませてもらいました。また、外湯も二湯しか回れませんでした、とても癒されるいいお湯でした。

今回は何の下調べもせず、わけのわからないまま連れていかれた城崎温泉でしたが、なんと旅行ガイドブック『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』で、城崎温泉は『寄り道して訪れるべき場所』を意味する二つ星(★★)で掲載されたそうです。孫とも 1 日ゆっくりで遊ぶことができ、息子夫婦のおかげで今回の城崎温泉は大袈裟ですが命の洗濯をさせて頂きました。心から感謝です。どうか来年も連れて行って下さい<m( )m>

大橋 哲夫



7月に入り、夏が来たという感じに暑い毎日が続いています。熱中症で倒れる方も800人以上、という厳しい毎日になってきました。普通に生活していても暑いのに、東北で被災された方々は仮設住宅でさらに暑くて厳しい生活をされています。

最近ニュースなどで話題となっていますが、東日本大震災の復興予算が24兆円あるそうです。しかし実際に復興のために使われたお金というのが、わずか10%程度の2,4兆円ほどだそうです。「残りの21兆円はどこへ？」と疑問に思うところですが、それは47都道府県に配られ、復興とは全く違う事に使われているようです。例えば、ある県では、今流行りのゆるキャラの開発に使われていたり、ある県では、鹿の撃退に使われている。その他にも婚活事業や観光地の開発などに使われているのが現状のようです。

被災地はというと、ボランティアに行った方々が口をそろえていうのは、被災地の末端まで支援が全然届いてなく、被災当時と状況が変わっていないと言います。現地には薬局がなく薬も手に入らないというところもあるようです。被災された方の中には、被災当時子どもと手をつないで逃げていた時に津波に襲われ、子どもと手が離れた瞬間の手の感触がいまだに忘れられず、「あの時もっと強く握っていれば・・・」と自分を責めている方や、母を担ぎ逃げていたときに津波に襲われ背中にいた母が、流されていく瞬間を忘れられない人もいます。毎日毎日、その瞬間が夢にでてくる。感触はきえずずっと残っている。そういった方々もたくさんいるそうです。

こういう事を知って自分には何ができるだろうと考えたときに、いろいろ出来る事ができます。例えば、現地に行って支援するとか募金するとか救援物資を送るとか。できる事はいろいろ出てくるけど実際に行動に移そうと思うと、できない理由がわいてでてくる。仕事してるから支援にいけない。募金するお金がない。などなど。結果何もできない。

「感動」という言葉、感じて動くと書きます。まさしく言葉通り。勉強になる本を読んでも、実際に行動しなければ意味がないし、仕事中にこうしたほうがいいなと思っても実際やらなければ何も変わらないです。竹原運輸では、朝の朝礼で「良いと思ったら、すぐやる、必ずやる、できるまでやる」と全員で唱和します。これは、すぐにやらないとできない理由がでてくる。必ずやらないと何も変わらない。できるまでやらないと中途半端になって何も変わらないかやる前より悪くなる。そして時間の無駄。僕はこういう風にとらえています。

行動に移すのは大変ですが、やりとげたときに達成感ややりがい、仕事が面白くなる。などのプラスな事がたくさんおこります。ぜひぜひ心に思った事即行動して、感動する毎日を送りたいものですね。

谷口 学

皆様、毎日暑い日が続いておりますが、夏バテしていませんか。私は、日中は当然エアコンを使用しておりますが、就寝時は、窓を開け、汗を流しながら寝ております。(何度何度も目が覚めますが・・・)

さて、我が家は、前回のハート通信でも義父が入院をしていると書きましたが、それから治療が完了し一度退院しました。しかし、10 日程で悪化、救急車で運ばれ、今回は手術し、何とか7月5日に無事退院することが出来ました。(本当に沢山の人の世話になりました。)

今は、自宅(田舎)で多くの人の協力を得て、何とか生活しております。ただ、義父は2カ月の間に2回も救急車で運ばれたということで大変ショックを受けていました。(私達もですが・・・)

ところで、初めて義父が救急車で運ばれた時は、自分達もかなり動揺していたのか、周りが気になりませんでした。2回目救急車で運ばれた時、2回目ということもあり処置室での周りの様子が大変気になりました。カーテン越しに何人かの痛い痛いと呼ぶ声が聞こえ、治療の音など生々しく、自分の体までもが痛いとの錯覚まで起こり、(内心)義父がこういう状態でなくて良かったとも思いましたが・・・。

この2カ月の間に、健康というものが本当に大切で、自分が現在健康体であることに感謝したいと思います。(いずれ病院にお世話になるとは思いますが) 大変暑い日が続きますが、睡眠、食事等体調管理をしっかり行い、この夏を乗り切ってください。

吉川 佳代

次回お楽しみに・・・

